

2026 年 06 月 30 日（火）【外為 L a b】松田哲

タイトル：【相場には、絶対はない】

このところのドル／円は、160 円台近辺を天井として、「ドル売り円買い介入」が実施されてきた、と考えます。

財務省・日銀の当局は、それ以上の円安水準は好ましくないと考えたのだ、そう判断しています。

ただし、当局の思惑通りになるのかは、誰にも分からない、と考えます。

+++++

相場に臨んでいると、他の人の意見や、特に専門家の意見を、鵜呑みにしてしまうことがあります。

しかし、専門家であっても、相場に絶対は無く、予想が外れることも多々あります。

トレードに必要なのは、アナリストなどの意見を参考にすることではなく、自分自身の確固としたトレードのルールだ、と考えます。

どんな情報でも、鵜呑みにするのは、危険であることを理解しておく必要があります。

+++++

相場では「絶対がないこと」が絶対です。

「160 円を上回することは、絶対に無い。
仮に、あったとしても、介入などで上値は限定的になるだろう。」
こういったコメントを耳にすることがあります。

しかし、こういったコメントは、根拠があるようで、実はまったく無い。

その人の単なる希望的観測に過ぎません。

こういった、相場に対してさまざまな考えを持つことを、「思惑（おもわく）」と言います。

つまり、理由は何でもいいのですが、ドルが上がるだろうとか、下がるだろうとか考えるこ

とを「思惑」と言うのです。

ですから、何かしらのことを理由に、先行きの相場の見通しを立てることを「思惑を持つ」と言います。

残念なことに、なかなか相場は思惑通りに動いてはくれないものです。

これは不思議なのですが、誰にとっても思惑通りには、ならないものなのです。

相場で「買い方」が外れたら、「売り方」が勝っている、と誰でも考えることでしょう。

ところが、資金管理がうまくいかなくて、「売り方」も負けていた、といったことが往々にして起こっています。

こういったときに、まったく相場は思惑通りにはならないものだ、と発見します。

そういった意味で、相場に「絶対」はないのですが、いい加減な売買では「絶対に」勝てないことも真実です。

+++++

(2026 年 6 月 30 日東京時間 08 : 30 記述)